記者発表資料

令和３年１２月１６日
国　土　交　通　省
山形河川国道事務所

一般国道１３号　新庄金山道路
地質調査結果と今後の対応について

○ 国土交通省山形河川国道事務所では、現在、国道13号新庄金山(しんじょうかねやま)道路（延長5.8km)について、令和7年度内の開通を目指し、鋭意工事を進めているところです。

○ 平成27年度から地質調査を行ってきたところ、トンネルおよび山地部の掘削予定箇所の一部において、土中の岩石に自然由来の重金属等が含まれることが確認されました。

○ この重金属等は自然由来であり、土壌ではなく岩石中に存在することから土壌汚染対策法は適用されませんが、適切な処理方法について専門家からの助言を頂きながら、処理方針をとりまとめましたのでお知らせします。

○ 今後とも、専門家の助言を頂きながら、周辺環境に及ぼす影響を調査し、関係機関と連携し適切に対応してまいります。

■地質調査結果

カドミウム最大値	：	０．０１４　mg/L（基準値：0.01mg/L以下）
鉛最大値	：	０．０８０　mg/L（基準値：0.01mg/L以下）
砒素最大値	：	０．０１３　mg/L（基準値：0.01mg/L以下）

※1　今回の重金属等は土壌汚染対策法は適用されませんが、参考として土壌汚染対策法の基準値を示しています。

※2　今回の試験値は岩石を粉砕し土の状態で行った短期溶出試験による値です。
（現地で採取した岩石を2mm以下に粉砕し、この試料を用いて土壌汚染対策法に定める測定方法に準拠し試験を実施）

※3　基準値設定の考え方（地下水経由による摂取のリスク）は、70年間、1日2リットルの地下水を飲用した場合、発がんリスクが10万分の1となるレベルとなっています。

■掘削した岩石の処理方針

①掘削により発生した岩石の処理方針
・道路事業用地内で盛土内封じ込め

②盛土箇所のモニタリング調査
・対策土の健全性を確認するため、周辺の地下水や排水路等の水質モニタリング調査を実施

＜発表記者会：山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会、山形建設業界専門紙＞

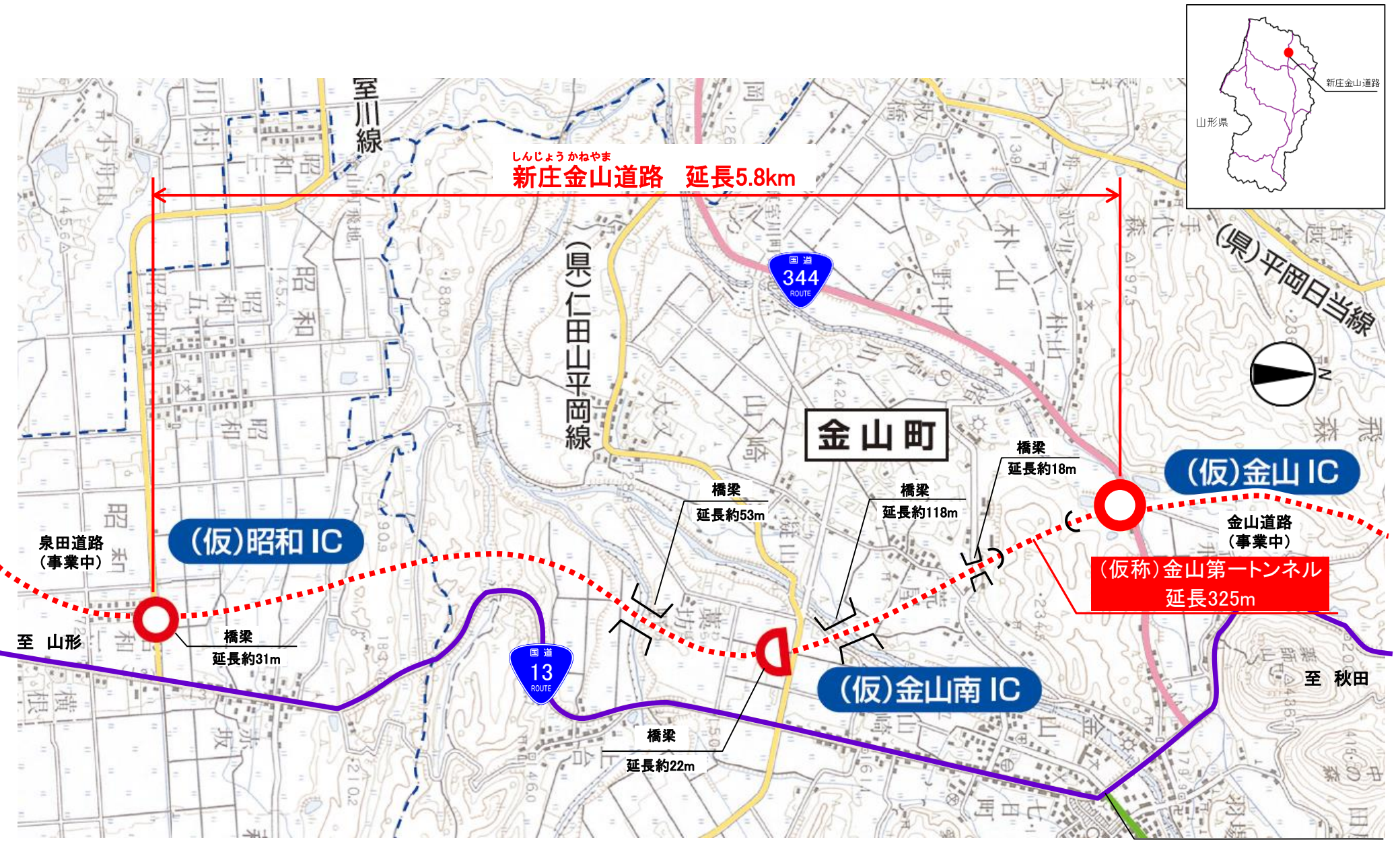
問　合　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所　電話番号　023-688-8421（代表）

副所長（道路）　田口(たぐち)　秀美(ひでみ)（内線205）

工務第二課長　岸田(きしだ)　正也(まさや)（内線411）

位　置　図


新庄金山道路　延長5.8km
しんじょう かねやま
新庄金山道路
山形県
室川線
(県)仁田山平岡線
(県)平岡日当線
国道 344 ROUTE
国道 13 ROUTE
金山町
(仮)昭和 IC
(仮)金山 IC
(仮)金山南 IC
泉田道路
(事業中)
金山道路
(事業中)
(仮称)金山第一トンネル
延長325m
橋梁
延長約31m
橋梁
延長約53m
橋梁
延長約118m
橋梁
延長約18m
橋梁
延長約22m
至　山形
至　秋田
N

対応方針のイメージ

掘削により発生した岩石は、道路事業用地内に、路床盛土、保護盛土、遮水シートで封じ込めます。
また、対策工の健全性を確認するため、水質モニタリング調査を行います。

